

LNG基地の利用に関する協議要領

(LNG基地利用申し込みのご案内)

平成24年5月

日本海エル・エヌ・ジー株式会社

1. 本要領の目的

本要領は、当社が所有し運営するLNG基地（以下「当基地」という。）の利用を希望される方（以下「利用希望者」という。）が、お申し込みの前にあらかじめご承諾いただく基本的事項および当基地の利用に関する一般的な事項を定めたものです。

2. 基本事項

当基地の利用は、次の基本的事項をご承諾いただくことが前提となります。

なお、当基地の設備概要につきましては、別紙をご参照下さい。

- (1) 当基地の利用にあたり、その運営が適正に行われ、当社が行う事業に支障がないこと。また、当基地の主要な利用者である東北電力(株)および石油資源開発(株)が行う電気事業またはガス事業の遂行に支障がないこと。
- (2) LNGの受入・貯蔵・気化・払出等および保安・防災等の基地運営に必要な業務については、当社が実施すること。
- (3) LNGの受入れにあたっては、当基地の栈橋と適合しているLNG船を利用すること。
(タンクローリー車を利用した受入設備はありません。)
- (4) 利用希望者が調達するLNGの性状等は、当基地がすでに受入れているLNGの性状等と適合性があること。
- (5) 当基地を利用して受入れたLNGを気化ガスとして払出する場合には、当基地に導管を接続している事業者と別途託送契約を締結すること。
なお、利用希望者が自ら当基地まで導管を敷設し、当基地設備と直接接続する場合は、別途協議を行います。
- (6) 当基地を利用して受入れたLNGをLNGとして払出する場合には、当基地の出荷設備に適合している車輛を利用希望者が手配すること。
(LNG船を利用した払出設備はありません。)
- (7) 東北電力(株)および石油資源開発(株)の電気事業またはガス事業の遂行に支障が生じる恐れがある場合、もしくは、当社が保安上必要と認めた場合、受入および払出等の制限を含め、利用希望者が当社の協力要請に迅速に対応できること。
- (8) 当基地の利用にあたり、当社以外の第三者との調整が必要となる場合には、利用希望者において調整を行い、承諾等を得ることができること。

(9) 利用契約の契約期間は、最長の場合でも、利用契約の締結日から、当社が利用希望者に対して当基地利用に関する協議開始の承諾の通知を行った日が属する事業年度の翌々事業年度末までとすること。

3. 利用申し込み

利用希望者は、次の事項について書面により申し込みをいただきます。

①利用希望者に関する事項

法人の場合

法人名、代表者名、本社所在地、担当者の氏名・役職および連絡先

個人の場合

利用者名、住所および連絡先

②受入に関する事項

受入量（年間および一回あたり）

受入スケジュール（入船計画）

受入方法（LNG船仕様）

LNGの性状（組成）

③払出に関する事項

払出量（月別、日別）

払出方法

④利用期間に関する事項

利用開始時期および終了時期

⑤その他必要な事項

4. 当基地利用についての協議開始諾否の通知

当社は、利用希望者からお申し込みいただいた内容について検討を行った結果を、その可否に係わらず原則としてお申し込み日から3ヶ月以内に書面により回答いたします。利用をお断りさせていただく場合には、その理由についても併せてお知らせします。

なお、当社は、検討に要した費用について、実費相当額に消費税等相当額を加えた額を申し受けます。

5. 協議開始決定後の協議事項

当社が、4.において、当基地利用に関する協議開始について承諾した場合の協議事項は以下のとおりです。

- ①受入・貯蔵・気化・払出に関する詳細事項
- ②計量に関する事項
- ③料金に関する事項
- ④当基地の利用制限および中止に関する事項
- ⑤損害の賠償に関する事項
- ⑥契約期間に関する事項
- ⑦保安に関する事項
- ⑧その他

6. 申し込み・問い合わせ窓口

当基地の利用に関するお申し込み・お問い合わせ等については、下記までお願いいたします。

日本海エル・エヌ・ジー株式会社 企画業務部企画業務課

〒957-0195 新潟県北蒲原郡聖籠町東港一丁目1612-32 【Tel.025-256-2135】

7. 提供を受けた情報の取り扱い

当社は、利用希望者から提供を受けた情報について、当基地利用の検討目的以外には使用いたしません。

また、利用希望者は、当社が提供した情報を、当社の承諾なしに第三者に開示することはできません。

以 上

日本海エル・エヌ・ジー株式会社基地設備概要

1. 受入設備

	仕 様	備 考
LNG棧橋	1基	着棧可能最大船型:217,000m ³ (メンブレン) :147,000m ³ (モス)
LNGアンローディングアーム	16B×3本	緊急離脱装置付
NGローディングアーム	16B×1本	

注) LNG船には、陸側からの増取索に対応するボラードの設置が必要となります。

2. LNGタンク

型 式	平底球面屋根二重殻保冷式(地上式)	
容 量・数 量	100,000KL×4基	80,000KL×4基
概 略 寸 法	内槽内径	66.5m
	外槽内径	68.3m
	液面高さ	約 30m

3. 気化設備

用 途	通 常 用	非 常 用
型 式	オープンラック式(ORV)※	サブマージド式(SMV)
能力・数量	175T/H×3基(低圧用) 180T/H×3基(中圧用) 90T/H×2基(中圧用) 125T/H×4基(高圧用)	120T/H×1基(中圧用) 60T/H×1基(中圧用)

※オープンラック式の能力は海水温度16℃以上の場合

4. 送出能力

圧力系統	送出能力	圧 力
低圧系	350T/H	0.85 MPa
中圧系	410T/H	3.25 MPa
高圧系	250T/H	6.57 MPa

注1) 低圧系および中圧系ラインは、東北電力(株)東新潟火力発電所殿向け専用ラインとなっております。

注2) 現状、当基地から気化ガスを送出する場合、導管所有者との託送契約が必要となります。

5. LNG出荷設備

	仕 様
LNGローディングアーム	3B×6本
NGアンローディングアーム	2B×6本

注1) 積込所要時間:10tローリーで約40分

注2) 出荷時間:日曜日および祝祭日を除く、9時から17時まで。

6. LNG取扱量

(単位:万t)

	23年度 実績	24年度 計画	25年度 計画	26年度 計画
LNG取扱量	544	—	—	—

注) 今後の計画については、東日本大震災の影響により流動的であるため
詳細が確定次第、別途更新いたします。

以 上